



指揮

小林研一郎
[桂冠名誉指揮者]

第九 特別演奏会 2025

指揮

出口大地

指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

12/20 土 14:00 サントリーホール 残席僅少
12/21 日 14:00 横浜みなとみらいホール
12/23 火 19:00 東京芸術劇場
12/27 土 14:00 東京芸術劇場
12/28 日 14:00 東京芸術劇場

オルガン：石丸由佳 *
ソプラノ：小川栞奈
メゾソプラノ：山下牧子
テノール：錦織 健
バリトン：寺田功治 (12/20-23)
青山 貴 (12/27, 28)
合唱：東京音楽大学 (12/20, 21)
武蔵野合唱団 (12/23)
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/27, 28)

メンデルスゾーン：オルガン・ソナタ第1番
op.65 より II. アダージョ

パッヘルベル：クリスマス・コラール
《高き天よりわれは来たり》

J.S. バッハ：トッカータとフーガ
ニ短調 BWV565

(以上3曲オルガン独奏*)

ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

指揮：出口大地

12/13 土 15:00 横浜みなとみらいホール
[第413回横浜定期演奏会]
12/14 日 14:00 サントリーホール

ソプラノ：砂田愛梨
メゾソプラノ：山下裕賀
テノール：石井基幾
バリトン：高橋宏典
合唱：東京音楽大学 (12/13)
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/14)

ウェーバー：歌劇《オベロン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

料金

S席 ¥10,000 A席 ¥9,000
B席 ¥7,500 C席 ¥6,000
P席 合唱団
Ys (25歳以下) 席 ¥4,000
Gs (70歳以上) 席 ¥6,000 (12/13除く)

好評
発売中



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

——創立指揮者 渡邊 暁雄——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第411回

横浜定期演奏会

411th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年10月25日(土) 午後3時開演

横浜みなとみらいホール

3:00pm October 25th (Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援：神奈川新聞社、+vkk(テレビ神奈川)

協力：横浜みなとみらいホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

70周年記念特別定期演奏会 横浜定期演奏会

横浜みなとみらいホール 土曜 15時開演

第416回 2026年4月25日

尾高忠明と前橋汀子——円熟の輝きが舞台を満たす

指揮：尾高忠明 ヴァイオリン：前橋汀子

ディーリアス：楽園への道（歌劇《村のロメオとジュリエット》より）
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
シベリウス：交響曲第5番

SY¥9,000 AY¥7,500 BY¥6,500 CY¥5,500 PY¥5,000 Ys¥2,500

第417回 2026年5月9日

小林研一郎と小山実稚恵、この二人だからこそ叶う「楽興の時」

指揮：小林研一郎〔桂冠名誉指揮者〕 ピアノ：小山実稚恵

ベートーヴェン：《エグモント》序曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

SY¥9,500 AY¥8,000 BY¥7,000 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

第418回 2026年6月27日

盟友と紡ぐブルッフのロマンと勝利のベートーヴェン

指揮：広上淳一〔フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）〕

ヴァイオリン：ボリス・ベルキン

モーツァルト：歌劇《劇場支配人》序曲
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》

SY¥9,500 AY¥8,000 BY¥7,000 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

第419回 2026年7月4日

情熱と色彩が彩る、ドラマティックで美しい音楽の旅

指揮：西本智実 ピアノ：貫川 風

サン＝サーンス：歌劇《サムソンとデリラ》より「パッカナール」
グリーグ：ピアノ協奏曲
チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》

SY¥9,000 AY¥7,500 BY¥6,500 CY¥5,500 PY¥5,000 Ys¥2,500

第420回 2026年9月19日

ラザレフのラフマニノフ！ 濃密な音楽世界を

指揮：アレクサンドル・ラザレフ〔桂冠指揮者兼芸術顧問〕

ピアノ：河村尚子

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
ラフマニノフ：交響的舞曲

SY¥10,000 AY¥8,500 BY¥7,500 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

横浜定期 年間会員券

（Ys：25歳以下／S席除く）

S ¥58,000 A ¥48,000 B ¥42,000 C ¥36,000
P ¥27,000（全9回） Ys ¥15,000

半期会員券

【春夏】S ¥33,000 A ¥28,000 B ¥24,000
C ¥21,000 P ¥17,000 Ys ¥9,000
【秋冬】S ¥34,000 A ¥29,000 B ¥25,000
C ¥21,000 P ¥14,000（全4回） Ys ¥9,000

第421回 2026年10月31日

小林研一郎との絆の証

指揮：小林研一郎〔桂冠名誉指揮者〕

オーボエ：杉原由希子〔首席奏者〕 クラリネット：伊藤寛隆〔首席奏者〕
ホルン：信末碩才〔首席奏者〕 ファゴット：田吉佑久子〔首席奏者〕
モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136
モーツァルト：協奏交響曲 変ホ長調 K.297b
ベートーヴェン：交響曲第7番

SY¥9,500 AY¥8,000 BY¥7,000 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

第422回 2026年11月22日（日）

サーの称号を持つ名ピアニストが、カーチュン・ウォンと再び豪華「響」演

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

ピアノ：サー・スティーヴン・ハフ

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
サン＝サーンス：交響曲第3番《オルガン付き》

SY¥9,500 AY¥8,000 BY¥7,000 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

第423回 2026年12月19日

心震わす歓喜の歌とともに、新しい年へ

指揮：阪 哲朗

ソプラノ：隠岐彩夏 カウンターテナー：藤木大地
テノール：小堀勇介 バリトン：池内 響 合唱：調整中
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

SY¥10,000 AY¥9,000 BY¥7,500 CY¥6,000 P合唱団 Ys¥4,000

第424回 2027年1月9日

カーチュン・ウォンと祝うニューイヤーコンサート！

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

トランペット：児玉隼人

ハチャトゥリアン：組曲《仮面舞踏会》
ハイドン：トランペット協奏曲
J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇《こうもり》序曲
J. シュトラウスⅡ世：ワルツ《美しく青きドナウ》
ラヴェル：《ダフニスとクロエ》第2組曲

SY¥9,500 AY¥8,000 BY¥7,000 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

第425回 2027年3月27日

ユーラシアとローマ、音楽が描く壮大な歴史絵巻

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

ヴァイオリン：田野倉雅秋〔ソロ・コンサートマスター〕

ボロディン：歌劇《イーゴリ公》序曲
ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲
ムソルグスキー（リムスキー＝コルサコフ編曲）：交響詩《はげ山の一夜》
レスピーギ：交響詩《ローマの松》

SY¥9,500 AY¥8,000 BY¥7,000 CY¥6,000 PY¥5,000 Ys¥2,500

日本フィルが結ぶ縁と、伝統の響き

指揮者藤岡幸夫は「日本フィルの父」である渡邊暁雄最後の愛弟子。そしてシベリウスは渡邊が最も愛した作曲家であり、そのDNAは藤岡と日本フィルに着実に受け継がれています。そして吉松作品は日本フィルが1993年に委嘱・初演した「日本フィル・シリーズ」の一曲であり、日本フィルにとってはかけがえのない宝物です。しかも吉松氏もまたシベリウスをこよなく愛する作曲家です。つまりこのコンサートは日本フィルを核とした縁が縦横無尽に結びついた特別なプログラムで構成されています。そしてこれからの日本フィルを担う若き首席トロンボーン奏者、伊藤雄太が登場いたします。その力強く輝かしい雄姿を、どうぞ存分にお楽しみください！

Programs

吉松 隆：

アトム・ハーツ・クラブ組曲 第1番 op.70b（約11分）

YOSHIMATSU Takashi: Atom Hearts Club Suite No.1, op.70b

吉松 隆：

トロンボーン協奏曲《オリオン・マシーン》op.55（約18分）

〔日本フィル・シリーズ第34作〕

YOSHIMATSU Takashi: Concerto for Trombone and Orchestra "Orion Machine", op.55

—— 休憩（15分） Intermission ——

シベリウス：

交響曲第1番 ホ短調 op.39（約40分）

Jean SIBELIUS: Symphony No.1 in E-minor, op.39

指揮：藤岡幸夫

Conductor: FUJIOKA Sachio

トロンボーン：伊藤雄太〔首席奏者〕

Trombone: ITO Yuta, Principal Player

コンサートマスター：田野倉雅秋〔日本フィル・ソロ・コンサートマスター〕

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

©Shin Yamagishi



指揮：藤岡幸夫

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務めた。

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を日本人にもかわらず特例で受賞。1994年ロンドン《プロムス》にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの

海外オーケストラに客演。オペラでもスペイン国立オヴィエド歌劇場でのブリテン「ねじの回転」やR. シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」等で脚光を浴び、2024年11月のフォーレ没後100年の命日には、パリのマドレーヌ寺院でレクイエムを指揮する栄誉を担った。

首席指揮者として毎年40公演以上を共演し2026年に27年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2025年4月からは総監督としても楽団を牽引する。また2019年の首席客演指揮者就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。

英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、ALM RECORDS から関西フィルとのシベリウス交響曲全集をリリース。著書『音楽はお好きですか?』『続・音楽はお好きですか?』を敬文舎から刊行。テレビ・ラジオへの出演も多く、なかでも番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBS テレ東『エンター・ザ・ミュージック』（毎週土曜朝8:30・BS テレ東公式YouTubeチャンネルでアーカイブを配信中）は2025年10月で12年目、放送600回に迫る人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



藤岡幸夫のオーケストラ・ガイド

14時20分より大ホール内にて♪

©井村重人



トロンボーン：伊藤雄太〔首席奏者〕

横浜市出身。13歳よりトロンボーンを始める。昭和音楽大学音楽学部 弦・管・打楽器演奏家コースを特別賞を受賞し卒業。

第22回日本クラシック音楽コンクール第2位（1位なし）。第15回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞（第1位）。第10回横浜国際音楽コンクール第1位。第2回K金管楽器コンクールグランプリ第1位。

昭和音楽大学第23回コンチェルト定期演奏会 ―若き演奏家による4つの協奏曲―にてソリストを務める。

第32回練馬区新人演奏会 出演者選考オーディション〔金管楽器部門〕優秀賞受賞。オーディション合格者による同演奏会にて、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。

第18回東京音楽コンクール〔金管部門〕第1位。優勝者＆最高位入賞者による優勝者コンサートにて、新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。

これまでにトロンボーンを小田桐寛之、秋裕一郎の各氏に師事。室内楽を在原豊氏に師事。

昭和音楽大学非常勤講師。ミュージックスクール「ダ・カーポ」トロンボーン講師。

日本フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者。



← YouTube チャンネル

【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】

X、Instagram では2分バージョン配信中！

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

●お客様へのお願い●

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

解説：吉松 隆

吉松 隆：アトム・ハーツ・クラブ組曲第1番 op.70b

この曲、オリジナルの弦楽四重奏版はフル・ネームを「ドクター・タルカスズ・アトム・ハーツ・クラブ・カルテット」(直訳すれば「タルカス博士の原子心倶楽部四重奏曲」)と言う。

これはもちろん、クラシックからロックンロールまでの人類の音楽全てを混合させたビートルズの傑作アルバム「サージェント・ペッパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」(直訳すると「ペッパー軍曹の傷心倶楽部楽団」)のもじり。これに70年代プログレッシヴ・ロックの名作であるエマーソン・レイク&パーマーの「タルカス」とピンクフロイドの「原子心母(アトム・ハート・マザー)」そしてイエスの「こわれもの」を加え、それをさらに手塚治虫の「鉄腕アトム」の十万馬力でシェイクしたのが、この作品である。

全体は4つの楽章からなり、

1は変拍子が全開のプログレ風アレグロ。

2はちょっとイヤラシめのバラード風アンダンテ。

3はつま先立ちでコソコソの逃げるコキュ(間男)風のスケルツォ。

4はスラップスティック(ドタバタ)風ブギウギ。

1997年夏にモルゴア・カルテットのために作曲。2001年に弦楽オーケストラ版の「組曲」を作成。藤岡幸夫指揮 BBC フィルにより CD 録音初演。

楽器編成 弦楽5部

吉松 隆：トロンボーン協奏曲《オリオン・マシン》op.55

[日本フィル・シリーズ第34作]

トロンボーンとオーケストラの協奏的作品というのは(ほとんど前例がないので)なかなかイメージとして焦点を結ばなかった。最初は暗い冬のような冷たく重い音楽にとりつかれていて、トロンボーンを司祭にしたミサあるいは挽歌のようなものを考えていた。それは協奏曲の楽想としてはかなり危ないものだったような気がする。

しかし、強迫観念のようなその暗い楽想は、秋も終わりのある夜静かに溶けていった。わけの分からない暗い情念は、わけも分からず消えて行くものようだ。そして、その夜に見上げた星座(オリオン)とトロンボーンという金属製の仕掛け(マシン)が頭の中でひとつに収斂していった。

それをきっかけにして、オリオン(ソリスト)がマシン(オモチャ)を扱っている玩具的なイメージが重なり、グレン・ミラーやJ・J・ジョンソンなどのジャズ・トロンボニストの残像や、さらにジャズとロックを融合させたプログレッシヴ・ロックの雄ソフト・マシン、H・ミューラーの刺激的な戯曲ハムレット・マシンなど、色々なイメージが万華鏡のように集ま

り、トロンボーン協奏曲《オリオン・マシン》という奇妙なタイトルの音楽が見えてきた。

曲は、オリオンの星座の外枠の四角の4ツ星(左上のベテルギウス、右上のベラトリクス、左下のサイフ、右下のリゲル)と中央の3ツ星(ミンタカ、アルニラム、アルニタク)に模した5つの部分からなり、続けて演奏される。

1. ベテルギウス：巨大な星座の発光で始まり、オスティナートに導かれてトロンボーンの歌が揺れる叙情的なアダージョ。
2. ベラトリクス：機関部が弾き出す10ビート(5/8)のリズムに乗って疾走するビッグ・バンド・ジャズあるいはブラス・ロック風のアレグロ。
3. 悲歌と歪んだワルツ。主題は三つ星にちなむワルツで、悲歌はその下にあるM42星雲にちなむMM42のテンポで奏でられる。
4. サイフ：管楽器群や弦楽器群との玩具的なからみとスイング・ジャズの残像がよぎる錯乱したカデンツァ。
5. リゲル：金管群によるファンファーレの唱和から、徐々に全楽器が加わって大きな協和音の虹を作って行くフィナーレ。

1993年4月15日、日本フィル・シリーズ第34作として初演。※初演時のノットより抜粋

楽器編成 独奏トロンボーン、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2(バス・クラリネット持替1)、ファゴット1、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、小太鼓、シンバル、トライアングル、ウインドチャイム、トムトム、ゴング、アゴゴベル、鉄琴、マリンバ、グロックンシュピール、コンガ、ウインドベル、タンブリン、風鈴、銅鑼、ハーブ1、ピアノ1、弦楽5部。

日本フィル企画制作部/監修：小宮正安

シベリウス：交響曲第1番 木短調 op.39

チャイコフスキーの影響が色濃く、作曲家自身の個性が十分に表現されきれていない…。ジャン・シベリウス(1865-1957)の交響曲第1番にはしばしばこのような評価が下されるが、果たしてそれは真実なのだろうか？

この作品が完成されたのは1899年。同時期には帝政ロシア支配に対する反抗と祖国への愛を謳った交響詩《フィンランディア》や、北欧民族に伝わる伝説に由来した組曲《カレリア》といった作品が書かれており、「愛国者シベリウス」の姿がそこにはある。この交響曲第1番もまた、そんな当時の「怒れるシベリウス」の姿勢から生み出されたと言ってよい。

ただし、激しく劇的に展開される音楽がロシア・ロマン派の残照を感じさせる一方で、比較的薄いオーケストレーション、息の長い旋律の受け渡し、弱音で細かく音を刻む弦楽器といった特徴は、シベリウス独特のものである。随所に聴かれる深く沈潜してゆく音の響きも、自然との同化を悠然と果たす後期の作品群にも通ずる重要な要素。

形式においても、全体は標準的な4楽章構成を保っているものの、はっきりと形式を規定できるのは冒頭の第1楽章(ソナタ形式)と、スケルツォの様式で書かれた第3楽章(三部形式)のみで、特に第4楽章は「クアジ・ウナ・ファンタジア(幻想曲風に)」という標題からもわかるように、シベリウス独自の自由な形をとっている。

第1楽章: アンダンテ・マ・ノン・トロポ (前へ進んで ただし速すぎずに) —アレグロ・エネルギー (活力に溢れて 情熱的に)

第2楽章: アンダンテ・マ・ノン・トロポ (前へ進んで ただし速すぎずに) —レント (苦渋に満ちた遅さで)

第3楽章: スケルツォ アレグロ (活力に溢れて)

第4楽章: フィナーレ クアジ・ウナ・ファンタジア、アンダンテ (前へ進んで) —アレグロ・モルト (きわめて活力に溢れて)

楽器編成 フルート2(ピッコロ持替2)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、太鼓、シンバル、トライアングル、ハープ1、弦楽5部。

日本フィル 横浜アンサンブル・ワンダーランド Vol.3

JPO Brass Quintet ~横浜に輝くブラスアンサンブルの夕べ~

2026年1月27日 日 19:00
横浜みなとみらいホール 小ホール

JPO Brass Quintet

トランペット: オッタビアーノ・クリストフオリ、
犬飼伸紀

ホルン: 信末碩才 トロンボーン: 伊藤雄太

チューバ: 柳生和大



【第1部】ヴェルディ: 歌劇《ナブッコ》序曲 エヴァルト: 金管五重奏曲第2番
ガーシュウィン: 組曲《ポーギーとベス》

【第2部】トークイベント



チケット
発売中!

【全席指定】※未就学児不可 ※会員: 日本フィル各種会員。みなとみらいホールのウェブフレンズ会員。

一般 3,000円 各種会員 2,500円 U18シート 1,000円

お申込み 日本フィル・サービスセンター ☎03-5378-5911 (平日 10:00~17:00)

主催: 日本フィルハーモニー交響楽団 協力: 横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安

モダン? クラシック?



本日の演奏会の曲目は、さらにいえば吉松とシベリウスは、一本の太い線で結ばれている。というのも、シベリウス作品に対する崇拝や愛着を吉松は折に触れて語っており、おそらくは彼の作品の中にもシベリウスからの影響を、思いがけない形で聴きとることができるからだ。

ちなみに、現役の吉松はもちろんのこと、シベリウスも(若い頃の作品は19世紀末に書かれているものの)20世紀以降に活躍した音楽家だ。そして20世紀以降といえば、芸術文化のみならず、社会的潮流そのものを指して「モダン」という言葉が当てはまる。だが一般的な言い方では、例えば今日の日本フィルの横浜定期演奏会は、「クラシックの演奏会」となるのではないかと? そしてそこで取り上げられるシベリウスはおろか吉松の作品も、「クラシック」と見なされてはいないだろうか?

元々「クラシック」には、「規範とすべきもの」という意味合いが存在した。音楽の歴史においても、たとえば主に19世紀初頭に活躍したベートーヴェンにとって、自分よりも約1世紀前に生まれたバッハの作品は、自らの創作の基本とすべき「クラシック」だった。しかも当のベートーヴェンは、王侯貴族の支配下から自立を遂げていった市民たちにとって、自分たちが心のよりどころとすべき力強いメッセージ性に溢れた音楽を書いた存在として、「クラシック」と化してゆく。

というわけで、オーケストラに典型的に見られる西洋音楽のレパートリーも、ベートーヴェンが中核となっていたがゆえに、どんなに時代が下っても「クラシック」というジャンル分けが一般的におこなわれるようになっていった。しかも解説でも触れたように、シベリウスにとってチャイコフスキーの作品は、「規範とすべき存在」という意味合いで「クラシック」だった。同様に吉松にとってのシベリウスも…

このように考えると、いかに世の中が新しくなっても、規範とすべきものを継承するという点において、いわゆる「クラシック音楽」には、「クラシック」の精神が脈打っている。創設当初からシベリウス作品を重要なレパートリーとし、それを今日の演奏会まで継承している日本フィルの姿勢もまた。



音楽のみならず社会の規範として輝くベートーヴェンのイメージ。リュシアン・レヴィ＝デュルメール作、1906年頃

第412回 横浜定期演奏会

2025年11月22日(土) 15:00

横浜みなとみらいホール

指揮: 太田 弦

ピアノ: 牛田智大

ショパン: ピアノ協奏曲第2番

チャイコフスキー: 交響曲第5番

S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500

Ys席: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

©ai ueda



太田 弦

©Ariga Terasawa



牛田智大

Information

インターネットラジオ OTTAVA に
千葉清加・安達真理が出演しましたYouTubeで
視聴いただけます。本日の公演は終演時のカーテンコールでの
写真撮影が可能です携帯電話・スマートフォン付属のカメラで
着席のまま撮影をお願いいたします。フラッ
シュ、動画撮影はお控えください。詳しく
は会場の掲示をご覧ください。

© 山口敦



© 井村重人

第261回 芸劇シリーズ

2026年3月8日 日 14:00 東京芸術劇場

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者]

ホルン: 信末碩才 [首席奏者]

芥川也寸志: 交響管絃楽のための音楽

R. シュトラウス: ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 op.11 TrV.117

ストラヴィンスキー: バレエ組曲《火の鳥》(1945年版)

もうすぐ
発売!

優先発売 11/19 水

一般発売 11/26 水

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、
是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、
会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

9月の寄付者 匿名1名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011

東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご呈示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。

※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

(1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

- 首席指揮者/カーチュン・ウォン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)/広上淳一

公式X (元Twitter)

@Japanphil

公式
アカウントソロ・コンサートマスター
扇谷泰朋
木野雅之
田野倉雅秋アシスタント・
コンサートマスター
千葉清加

第1ヴァイオリン

伊藤太郎
太田麻衣
九鬼明子
齋藤政和
柳 渚
竹歳夏鈴
成澤美紀
宮坂典幸
森田麻友美
山口雅之

第2ヴァイオリン

遠藤直子
大貫聖子
岡田紗弓
神尾あずさ
佐藤駿一郎
末廣紗弓
豊田早織
町田 匡
松川葉月
山田千秋

ヴィオラ

☆安達真理
江藤史織
小俣由佳中澤基道
児仁井かおり
高橋智史
中川裕美子
中溝とも子
松澤雅奈

ホルン

☆丸山 勉
◎信末碩才
伊藤 舜
原川翔太郎
村中美菜ソロ・チェロ
門脇大樹
菊地知也

チェロ

石崎美雨
伊堂寺 聡
江原 望
大澤哲弥
久保公人
篠原和仁
山田智樹

コントラバス

鈴木優介
成澤美紀
宮坂典幸
森田麻友美
山口雅之

フルート

◎真鍋恵子
齋藤光晴
難波 薫
オーボエ
◎杉原由希子
◎松岡裕雅
佐竹真登

クラリネット

◎伊藤寛隆
◎楠木 慶
照沼夢輝
ファゴット
◎田吉佑久子
◎鈴木一志
中川日出鷹

ホルン

☆丸山 勉
◎信末碩才
伊藤 舜
原川翔太郎
村中美菜ソロ・トランペット
オットー・クリスト・フォリ

トランペット

◎大西敏幸
◎大飼伸紀
中里州宏
中務朋子
星野 究

トロンボーン

◎伊藤雄太
◎笠間勇登
福島莉那

バス・トロンボーン

中根幹太

チューバ

柳生和大

ティンパニ

◎エリック・バケラ

◎池田健太

パーカッション

大河原 渉
本間雄也

ハーブ

松井久子

楽団長

伊藤寛隆

チーフステージマネージャー

阿部紋子

ステージスタッフ

長橋健太

森田大翔

チーフインスペクター

佐藤駿一郎

インスペクター

鈴木優介

谷崎大起

ライブラリアン

鬼頭さやか

坂庭史映

杉本哲也

(2025年10月1日現在)

会長(代表理事)
平井俊邦

理事長(代表理事)

石塚邦雄

副理事長(代表理事)

五味康昌

専務理事(代表理事)

福井英次

常務理事(代表理事)

後藤朋俊

理事

石井啓一郎

佐々木経世

田村浩章

戸所邦弘

葉田順治

福本ともみ

別府一樹

監事

福澤宏哉

細谷義徳

評議員会会長

加藤丈夫

評議員

青井 浩

安孫子 正

荒蒔康一郎

石村 等

稲垣 尚

内川清雄

大塚宣夫

梶浦卓一

河北博文

喜多崇介

木村恵司

久保田 隆

小林研一郎

島田精一

津田義久

中根幹太

西澤 豊

野間省伸

福満一夫

村上典吏子

山口多賀幸

名誉顧問
熊谷直彦

島田晴雄

田邊 稔

チーフマーケティングオフィサー

伊藤治彦

マネージメント・スタッフ

浅見浩司

磯部一史

江原陽子

及川ひろか

小川紗智子

萩島里帆

賀澤美和

香取春子

金田雅子

小須田明

佐々木文雄

澤田智夫

篠崎めぐみ

杉山綾子

杉山まどか

高橋勇人

田中正彦

樋谷祐子

中村沙緒里

西田大輔

西田真菜

長谷川珠子

樋高雄太

藤田千明

古舘順一

益満行裕

宗澤晶子

山岸淳子

吉岡浩子

和田美希

シニア・パートナー

新井康久

伊波 睦

永島義郎

南部洋一

吉江信博

団友
青柳哲夫

青山 均

赤堀泰江

新井豊治

石井啓一郎

伊藤恒男

伊波 睦

宇田紀夫

遠藤 功

遠藤剛史

大石 修

柏 美知子

筑熊由紀子

加藤祐一

金本順子

蒲谷隆行

川口和宏

川口 貴

菊田秋一

岸良開城

吉川利幸

木村正伸

小林俊夫

小山 清

斎藤千種

佐々木裕司

佐藤玲子

菅原 光

高木裕子

高木雄司

高木 洋

高倉理実

高山智仁

田沢 烈

立川和男

堂阪俊子

富樫尚代

豊田尚生

中川二朗

永田健一

中務孝彦

奈切敏郎

橋本 洋

畑井紀代子

平賀法子

福島喜裕

松本克己

三本伸二

三本克郎

宮武良平

三好明子

森 茂

山下進三

山科淑子

渡辺哲雄

◎首席奏者
○副首席奏者☆客演首席奏者
□試用期間